

2024年度第1回鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2024年5月7日(火) 13:30~17:00
2. 場所 308会議室+オンライン開催 (Zoom)
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 岡崎太一郎, 聲高裕治, 石井大吾, 石田交広, 石原直, 伊山潤,
(敬称略) 井戸田秀樹, 宇佐美徹, 越智健之, 小野潤一郎, 金尾伊織, 吉敷祥一, 城戸將江,
木村祥裕, 桑原進, 佐藤篤司, 澤泉紳一, 澤本佳和, 鈴木淳一, 竹内徹,
田中剛, 長谷川隆, 原田幸博, 見波進, 安田聡, 山田哲, 山田丈富, 和田昌敏,
村上行夫 (記録)
下線: 欠席者
4. 資料 (ストレージサーバ)
 - 01-01 議事予定 (五十嵐主査)
 - 01-01-01 運営委員会委員名簿 (聲高幹事)
 - 01-02 2023年度第4回鋼構造運営委員会議事録案 (村上幹事)
 - 01-03 構造本委員会資料 (五十嵐主査)
 - 01-04 座屈小委員会資料 (金尾委員)
 - 01-05 接合小委員会資料 (桑原委員)
 - 01-06 素材小委員会資料 (見波委員)
 - 01-07 時刻歴耐震設計小委員会資料 (伊山委員)
 - 01-08 各種合成構造指針改定小委員会資料 (吉敷委員)
 - 01-09-01 環境小委員会資料 (和田委員)
 - 01-09-02 環境小委員会資料-IABSE (和田委員)
 - 01-10 塑性設計小委員会資料 (佐藤委員)
 - 01-11 軽鋼構造設計施工指針改訂小委員会資料 (欠番)
 - 01-12 耐火設計小委員会資料 (鈴木委員)
 - 01-13 鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会資料 (欠番)
 - 01-14 限界状態設計指針改定小委員会資料 (井戸田委員)
 - 01-15-01 鋼構造被害調査のアンケート結果 (聲高幹事)
 - 01-15-02 令和6年能登半島地震災害調査WG第1回議事次第 (聲高幹事)
 - 01-16 学会図書の質疑に対する回答状況一覧 (聲高幹事)
 - 01-17 今年度(2024年度)大会学術講演会若手優秀発表選考実施要綱2024 (岡崎幹事)
 - 01-18 今年度(2024年度)大会PDの準備状況について (井戸田委員)
 - 01-19 来年度(2025年度)大会PD候補について (欠番)
 - 01-20 重点審議 限界状態設計指針改定小委員会 (井戸田委員)
 - 01-20-01 重点審議履歴 (五十嵐主査)

5. 議事内容

(1) 委員名簿の確認 (資料 01-01-01 五十嵐主査)

- ・ 2024 年度の運営委員会名簿を確認した。修正等が必要な場合は聲高幹事まで連絡のこと。
- ・ 新任（本年度は 1 名）の伊山委員より挨拶があった。

(2) 前回議事録の確認 (資料 01-02 村上幹事)

- ・ 2023 年度第 4 回の議事録案を確認し、承認された。

(3) 構造本委員会の動き (資料 01-03 五十嵐主査)

- ・ 今年度、本委員会はまだ開催されていない。
- ・ 委員の委嘱・解嘱のみ資料 01-03 にまとめたので、各位で確認のこと。

(4) 小委員会・WG 等の報告

- ・ 資料 01-04～01-15 に基づき、各小委員会・WG 等の担当委員から活動報告があった。

座屈小委員会 (資料 01-04 金尾委員)

- ・ 3/29 (圧縮・ブレースグループ), 4/2 (柱・梁・板グループ) に WG を開催。
- ・ 板, 柱, 梁, 圧縮材, ブレースのそれぞれに関して, 改定方針を議論。
- ・ ブレース接合部に関して, 座屈指針・塑性指針・接合部指針での整合性については要議論 (関連 3 小委員会)。

接合小委員会 (資料 01-05 桑原委員)

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 委員の交代についてメール審議中。

素材小委員会 (資料 01-06 見波委員)

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 刊行物の最終原稿を収集中。運営委員会の査読は来年度の予定。

時刻歴耐震設計小委員会 (資料 01-07 伊山委員)

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 今後 4 年間の活動計画に関して紹介があった。

各種合成構造設計指針改定小委員会 (資料 01-08 吉敷委員 (代理: 五十嵐主査))

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 24 年度から新体制 (資料 01-08) にて改定項目の議論を開始する予定。
- ・ 当会指針無断転載の件に関しては, 学会長名で意見照会を打診した。現在回答待ち。
- ・ 実施した講習会の e ラーニング化が決定した。

環境小委員会 (資料 01-09 和田委員)

- ・ 2/27 に小委員会を開催。
- ・ 指針改定に関して, 章構成ならびに執筆担当を検討。今後執筆開始予定。
- ・ IABSE の Special Session に申し込みを行った。アブストラクト提出は 7 月末, 採否は 9 月中旬の予定。

塑性設計小委員会（資料 01-10 佐藤委員）

- ・ 3/30 に小委員会を開催。
- ・ 各章の記述内容に関して引続き討議。
- ・ スケジュール目標を若干見直し（6 月末原稿案集約、2025 年 2 月運営委員会査読、2025 年 8 月構造本委員会査読、2026 年 6 月刊行目標）。

軽鋼構造設計施工指針改定小委員会（資料なし 竹内委員（代理：五十嵐主査））

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 講習会の質疑対応中。

耐火設計小委員会（資料 01-12 鈴木委員）

- ・ 3/14 に小委員会を開催。
- ・ 指針改定内容に関して引続き討議。2025 年度大会での PD 開催を検討中。
- ・ WG 委員の追加について審議依頼（詳細は資料 01-12 参照）があった。⇒運営委員会承認。

鋼管トラス構造設計施工指針改定小委員会（資料なし 越智委員（代理：五十嵐主査））

- ・ 小委員会の開催はなし。
- ・ 改訂案を構造本委員会で査読中。

限界状態設計指針改定小委員会（資料 01-14 井戸田委員）

- ・ 3/27 に小委員会を開催。
- ・ PD の具体的内容に関して討議（活動内容含め重点審議で報告）。

災害委員会等（資料 01-15-01, 01-15-02 聲高幹事）

- ・ 能登地震に関して、被害アンケート調査の経過ならびに結果について報告があった。
- ・ これまでの被害調査建物を、今後調査を行う方々が閲覧できるように準備を行っている。
- ・ 今後の方針として、以下を確認した。
 - 運営委員会として調査を行わない。
 - 個別の調査を行った場合のデータ提供をお願いする。
 - 災害調査 WG の動向を確認しながら進める。

(5) 学会図書質疑回答の報告（資料 01-16 聲高幹事）

- ・ 前回運営委員会以降に 2 件（質問番号 24-01～02）の質疑があり、2 件とも回答済み。

(6) 2024 年度大会学術講演会若手優秀発表について（資料 01-17 岡崎幹事）

- ・ 2024 実施要綱の紹介があった。⇒HP へ掲載する
- ・ 進め方（スケジュール含め）については昨年度同等とする。
- ・ 次回運営委員会で審査員の候補（今年度も 1 ブロックにつき 4 名を配置予定）を提示する。

(7) 2024 年度大会 PD の準備状況について（資料 01-18 井戸田委員）

- ・ 重点審議の中で紹介。

(8) 2025 年度大会 PD 候補について（資料なし）

- ・ 耐火設計小委員会の担当で検討を進める。

- ・ 防火本委員会との共同開催についても合わせて検討を行う。

(9) 重点審議：限界状態設計指針改定小委員会（資料 01-20 井戸田委員）

- ・ 資料 01-20 に基づき、PD の概要案について紹介があった。
 - 塑性設計指針は現在改定作業中なので整合性を取るのには可能かと思うが、現状小委員会が存在しない鋼構造設計規準（S 規準）との整合性は？
 - 使用限界状態設計における設計式は現行の S 規準と同じものを想定している。今後、S 規準が改定される際に整合が取ればよいと考えている。また、どの指針にも現状書かれていないものは付録で残す予定。
 - 今の限界状態設計指針があまり使われないのは、荷重係数・耐力係数を決めきっていないことが要因だと考えているが、今回の改定でも決めきらないのか？
 - 設計式は荷重係数・耐力係数を用いることに変わりはないが、表を用意することで現行の性能水準（建築基準法）との対応を明示し、なるべく面倒な確率計算をすることなく係数を選べる工夫をしたいと考えている。
 - 現行の性能水準との対応は計算済みか？
 - 計算済みで、荷重指針の方でも同様な対応を行っている。
 - 解析ツールや解析モデルによるばらつき（解析精度）はどう考えているか？
 - 不確定なものは制御ができないため、やむを得ず確率量で扱うものと、施工精度のようにある許容値を守っておけばそれ以上のばらつき（エラー）は起きないというような管理ができるものに分けられると思う。解析モデルなどによるばらつきは後者にあたりと考えられる。
 - より高度な解析を行った場合ほど、より有利な係数が利用できる（安全率を低く設定できる）ような方向性になるとよい。
 - その通りだと考えるが、それは本指針ではなく傘下の指針類の範疇かもしれない。
 - 荷重係数や耐力係数が、限界状態は変形で定義するという考えとどう繋がるのか？
 - 各限界状態における層間変位や層間変形角で表現されると考えている。
 - 各限界状態における変形の求め方は？
 - 具体的な変形の求め方は傘下の指針類に譲る予定。クライテリアについては各指針間で統一したいと考えている。

(10) 次回重点審議について（資料 01-20-01 五十嵐主査）

- ・ 次回は耐火設計小委員会にお願いします。

(11) 構造本委員会他からの依頼事項について（資料なし 五十嵐主査）

- ・ 6/3 に米国 UC Berkeley の Jack P. Moehle 先生の講演会（資料 01-01 参照）があるので可能な方は聴講下さい。

(12) その他（資料なし 五十嵐主査）

- ・ 鋼構造設計規準の重版について、正誤表の反映を含めて進めることとする。

- ・ 今後の運営委員会査読者について、下記でお願いします。
 - 塑性設計指針：城戸委員，小野委員
 - 溶接接合設計施工ガイドブック：伊山委員，安田委員

6. その他

第2回鋼構造運営委員会	2024年7月29日(月)	13:30~17:00
鋼構造運営委員会懇親会	2024年8月27日(火)	@東京
第3回鋼構造運営委員会	2024年12月9日(月)	13:30~17:00
第4回鋼構造運営委員会	2025年3月17日(月)	13:30~17:00

以上